

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解科
目コード:130018

疾病・障害論Ⅴ(小児) Disease and Disorders Ⅴ (Pediatrics)

担当教員	堀田 成紀(非)										
実務経験	現役医師が講師となり、実務経験を講義に活かした実践的教育を行っている。										
開講年次	2年次後期		単位数		1		授業形態			講義	
必修・選択	必修		時間数		15						
該当ディプロマポリシー	(1)		(2)	◎	(3)	○	(4)		(5)		(6)
Keywords											
学習目的・目標	1. 先天性、遺伝性疾患をはじめ成長途上にある小児の疾患について、基礎的臨床医学知識を習得する。 2. 内科的疾患のみならず、外科あるいは関連各科も含め小児特有の疾患を理解する。 3. 小児科は臓器別診療科ではなく、小児をトータルで診る総合診療科であることを理解する。										
授業計画・内容											
回	内容										
1	感染症、新生児、遺伝性疾患、染色体異常										
2	血液疾患(白血病を除く)										
3	消化器疾患、腎泌尿・生殖器疾患										
4	呼吸器疾患、アレルギー疾患										
5	循環器疾患、内分泌疾患、代謝性疾患										
6	小児の事故・虐待、神経・筋疾患、精神疾患										
7	悪性腫瘍(白血病を含む)										
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2]小児臨床看護各論(医学書院)										
参考図書等	小児科学会誌、小児血液学会誌、新生児学会誌										
評価指標	定期試験で60点以上(100点満点)を合格とする。										
関連科目											
教員から学生へのメッセージ	小児特有の疾患やその病態を理解することで、子育て中の父母に適切なアドバイスができるようになることを第一の目標とする。同じ疾患でも小児と成人では対応の方法が異なるので、わからない点があれば、遠慮なく聞いてください。										